

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

令和元年第40週(9月30日～10月6日)【速報】

1 五類定点疾患週報情報

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	19	0.17	0.22		10	ヘルパンギーナ	33	0.46	0.34	
2	RSウイルス感染症	206	2.86	1.85		11	流行性耳下腺炎	12	0.17	0.59	
3	咽頭結膜熱	30	0.42	0.26		12	急性出血性結膜炎	1	0.05	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	79	1.10	1.58		13	流行性角結膜炎	17	0.89	0.96	
5	感染性胃腸炎	247	3.43	4.08		14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
6	水痘	10	0.14	0.29		15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.03	
7	手足口病	93	1.29	1.14		16	マイコプラズマ肺炎	3	0.14	0.22	
8	伝染性紅斑	20	0.28	0.16		17	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.02	
9	突発性発しん	21	0.29	0.41		18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 ※2 鳥インフルエンザを除く。 ※3 オウム病を除く。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1	1～11	12,13	14～18
定点数	43	72	19	21

発生記号(前週と比較)

急増減			1 : 2 以上の増減
増減			1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減			1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい			ほとんど増減なし

- 咽頭結膜熱警報を平成31年4月25日に発令していましたが、定点当たり報告患者数が県内すべての保健所管内で警報継続基準値(定点当たり1)を下回り、咽頭結膜熱の流行は終息に向かっていると考えられるため、令和元年10月10日に警報を解除しました。

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

- 急増疾患 なし
- 急減疾患 なし

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	2		1	1		2	1
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					2		
四類	5	E型肝炎	1					1		
		日本脳炎	1					1		
		レジオネラ症	1					1		
		デング熱	1	1						
		日本紅斑熱	1							1
五類全数	12	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2						2	
		急性脳炎	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		梅毒	1							1
		百日咳	7		4			3		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
 東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

- 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>